

バイリンガルとなる子供への親の協力に関して、他にご質問がございましたら、どうぞお子さんの学校の EAL 教師にご相談ください。

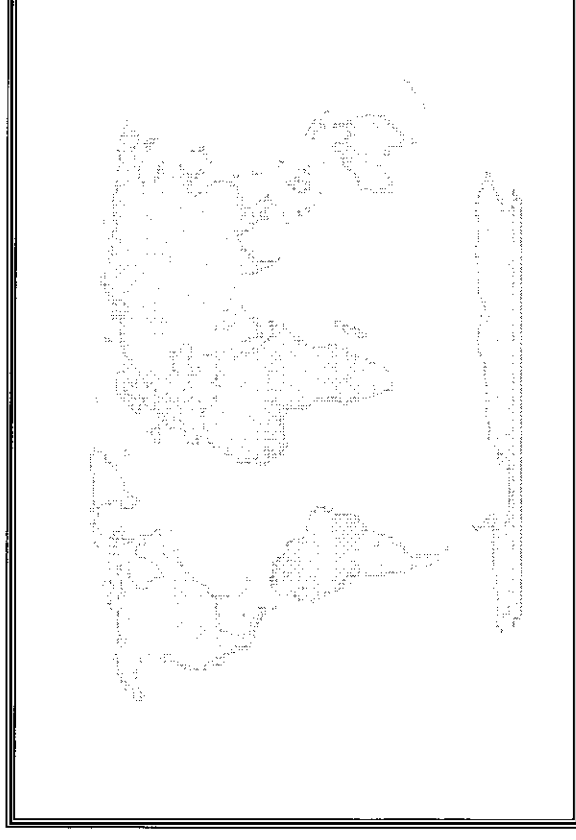
# バイリンガルとなる子供への 親の協力

## 参考資料

[A Parents' and Teachers' Guide to Bilingualism](#)  
Baker, Colin, 1995

[Learning in 2+ Languages](#)  
Learning and Teaching Scotland, 2005

[Languages for Life: Bilingual Pupils 5-14](#)  
SCCC, 1994



子供に両言語で読み書きさせるには、どうすればいいでしょうか。読み書きの課題が子供にとって興味深く、経験に関わっていることが大切です。適切な話題やアクティビティをお子さんの担任教師やEAL教師がお知らせすることができます。また、楽しみながら読むことも大切です。これには想像力を働かせるような物語を両方の言語で読むと良いでしょう。お近くの語学教室も家庭言語の向上に役立ちます。

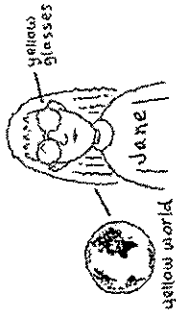
**家庭言語では異なる文字を使います。子供が混乱してしまいますか。**  
英語での読み書き学習は、家庭言語での読み書き学習によってさらに向上されます。子供は二つの全く異なる文字で書くことを上手に身につけていくことができます。

**私の子供は家庭言語での読み、書き、綴りがうまくできません。英語でも同様の問題が生じるのでしょうか。**  
識字問題によっては他言語に及ぶものもあります。お子さんの学校やEAL教師にお知らせ下さる情報が多ければ多いほど、お子さんに関する質問にお答えし、適切なサポートを提供することが可能となります。

**バイリンガルであることが、子供の学校での成績に影響を及ぼしますか。**

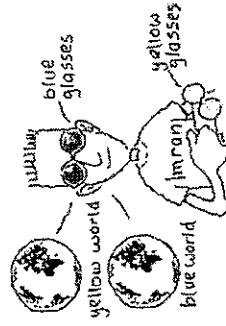
初期は、家庭言語で到達できるレベルに英語で達するには時間がかかるでしょう。が、そのうちに、意欲と周囲のサポートで到達できるようになります。実際に、バイリンガルの子供たちの中にはナショナル・テストで単一言語の子供たちより良い成績を取る子供もいます。

## バイリンガルの人ほどのように世界を見ているのでしょうか<sup>1</sup>



ジェーンは黄色いレンズのめがねをかかれています。ジェーンにとっては、世界は黄色だけに見えます。

イムランは二つのめがねをもっています。一つは黄色のレンズ入りです。これかけると世界は黄色に見えます。もう一つは青色のレンズ入りです。これかけると世界は青色に見えます。イムランは黄色のレンズを通して世界を見るか、青色のレンズを通して見るか、選ぶことができます。イムランは異なるレンズが浮き彫りにする異なる陰影と色調の世界観を比べることができ、イムランはいつ違うレンズをかけるか選ぶことができます。黄色のめがねをかけている人達と世界観を共有することもできるし、また青色やどんな色のレンズをかけている人たちとも世界観を比べることができます。



イムランは黄色と青色のレンズを同時にかけ、二色が融合し緑色になることも体験できますが、世界は黄色でも青色でも緑色でもなく、世界観は見る者がかけるレンズによるところが大きいと気づくこともできます。ジェーンとは違って、イムランは黄色の現実だけに留まるのではなく、世界観を分かち合うことができます。

<sup>1</sup> 原書 *Languages for Life: Bilingual Pupils 5-14*, SCCC 1994, *Learning in 2+ Languages, Learning and Teaching Scotland* 2005 より引用

## なぜ家庭言語を伸ばしていくことが大切なのでしょうか。

社会生活に必要な英語を身につけるには長くは長くて二年かかります。しかし、教育に必要な英語力を十分養うには長くて十年かかります。お子さんの第一言語は、『次の言語と新しい概念を学ぶための最良の礎』となります。お子さんの家庭言語を引き続き伸ばしていくことにより、英語学習とは関係なしに、概念や理論を発達させることが可能となるのです。

## 家庭言語を伸ばすために、私にどんなことができますか。

- 家庭言語と英語の両方で書かれている事実やお話の本 (二ヶ国語本) を読む
- 家庭言語の教室や補習校に出席する
- 家庭言語のコミュニティで交流をもつ
- 家庭言語で学校の勉強について話し合う
- 親戚と連絡を取り合う
- 家庭言語のラジオやCDを聴き、テレビやDVDを観る
- 家庭言語のウェブサイトを閲覧したり、オンライン学習をする

## よくある質問

**私は英語があまり上手ではありません。子供と英語で話すべきですか。**

あなたが家庭言語の良い手本となるのですから、家庭言語を使っただ方が良いでしょう。（お子さんには家庭の外で英語を聞き、使う機会がたくさんありますから。）

**子供が二つの言語を一緒にしてしまいます。どうしたらいいですか。**

子供が同時に二ヶ国語を学ぶ場合によく起こります。お子さんは徐々に二つの言語を切り離していくでしょう。それができるようになる年齢とスピードにはたいへん個人差があります。ご心配なら、EAL 教師にご相談ください。

**二つの言語を分けておくべきですか、例えば、家庭での言語と外での言語のように。**

新しい言語を学ぶ初期には、二つの言語を分けておくのが最善です。各言語の境界を守ることが難しいかもしれませんが、お子さんが各言語を混乱せずに身につけていくのに役立つでしょう。EAL 教師に方法をお尋ねください。

**子供が家庭言語をもう使いたくなくなったら、どうすればいいでしょうか。**

子供、特にティーンエージャーが、友達に融け込みたいから常時英語を使っていたいというのは普通のことです。こういう家庭言語拒否は短期間だけということもあります。特定の言語を子供に使うよう強制することは望ましくありません。

**「バイリンガル」になるとは、どういうことですか。**

子供が二ヶ国語以上の言語を使いながら成長していくことは、世界中でごく普通にあります。日常生活で二ヶ国語以上を使う人々は「バイリンガル」と呼ばれます。これは、その人がそれぞれの言語に同等の力があるということではありません。

**バイリンガルの利点は何ですか。**

### 文化

二ヶ国語以上の言語を話すということは、二つ以上の世界一異なった考え方、意見、信念一を経験するということです。家庭言語は価値観や伝統を受け継ぎ、文化的アイデンティティの維持にとっても重要です。

### 家族

家庭言語は、普通、子供が最初に学ぶもので、特別な価値があり、また、最も自然に感情を表現することができます。家庭言語は家族や友達との関係維持にも重要です。

### 思考力

二ヶ国語以上を学んだり、使ったりすることは創造的思考や問題解決、表現を豊かにします。

### 言語

バイリンガル能力は言語の働きに対する理解を深め、他の新しい言語の学習を容易にします。

### 就職の機会

多くの職業や雇用者が他の言語も話せ、読め、書ける人を必要としています。